

観光社会資本の事例

テーマ	菅江真澄の足跡を情報発信することにより観光振興に寄与する道の駅
【施設の状況写真】  <p>←道の駅「雁の里せんなん」に設置しているパネル</p> <p>→道の駅「ふたついで」で配布しているリーフレット(表)</p> 	
<p>秋田県内の道の駅4箇所では、江戸時代の紀行家である菅江真澄の足跡を活用して、真澄の図絵と現在の風景を重ね合わせ楽しむ旅の情報の発信拠点として菅江真澄の情報や近隣の魅力ある観光資源に関する情報についてのパネル展示や真澄の図絵と現地までの地図等が掲載されたリーフレットの配布を実施。</p>	
【施設の利用写真】  <p>↑道の駅「協和」でのボランティアガイド</p> <p>パネル展示、リーフレット配布の他、菅江真澄研究会等のご協力により、ボランティアガイドを実施。</p> <p>パネル展示・リーフレットと併せて説明を受けることにより、利用者の菅江真澄に関する理解度と地域の観光地に関する理解度も高くなり、真澄の足跡を訪ねる旅の楽しみも大きくなる。</p>	
【観光資源としての利用状況】 <p>旅行者は、携帯用リーフレットで現地の風景と真澄の図絵との比較をすることにより、今と昔の二つの時代を感じる「ツインタイムトラベル※」が可能となる。</p> <p>現在は、「てんのう」「協和」「ふたついで」「せんなん」の秋田県内各地域の道の駅において、この菅江真澄の足跡を活かした観光振興への取り組みを展開し、パネル展示やリーフレットを配布している。また、「てんのう」「協和」では、菅江真澄の研究会等によるボランティアガイドが期間限定で実施され、地域としてこの取り組みをおこなっている。さらに他の道の駅でも取り組みが検討されており、今後これらの道の駅同士での連携も検討されている。</p>   <p>↑道の駅「てんのう」で配布しているリーフレット</p> <p>←真澄の描いた200年前の景色と今も同じ趣をたたえるこの目潟と戸賀湾</p> <p>※ツインタイムトラベル…京都大学大学院、金坂清則教授が命名した言葉。「過去の旅行記に描かれた旅の時空と自分が今行う旅の時空を同時に味わい楽しむ旅、つまり、二つの時の旅を一つのものとして重ね楽しむ旅」のこと。</p>	

テーマ	菅江真澄の足跡を情報発信することにより観光振興に寄与する道の駅
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称・所在地・事業主体：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「てんのう」 秋田県潟上市天王字江川上谷地 109-2(秋田河川国道事務所) ・道の駅「ふたついで」 秋田県山本郡二ツ井町小繋字中島 109-10(能代河川国道事務所) ・道の駅「協和」 秋田県大仙市協和荒川字新田表 15-2(秋田河川国道事務所) ・道の駅「雁の里せんなん」 秋田県仙北郡美郷町金沢字下館 124(湯沢河川国道事務所) <p>○事業名：菅江真澄の足跡を活かした観光振興</p> <p>○事業期間：H16.8より道の駅「てんのう」で開始。以降、随時実施中。</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>『道の駅』には、トイレなどの休憩機能、特産物の販売等の交流機能・道路情報や観光情報等の情報発信機能といった各種機能があり、道路利用者にとっての単なる休憩施設にとどまらず、地域の賑わいを演出しかつ地域の情報を提供することにより、地域の観光振興及び地域の活性化に貢献することが可能。</p> <p>この取り組みによって、道の駅という人の集まる空間を活用して、地域と連携を図りながら、地域の歴史・文化など旅行者の知的好奇心を満たすような観光についての情報を発信することで、個性ある地域観光の振興が支援される。</p>	
<p>【位置図】</p>	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>菅江真澄の足跡と秋田・再発見 http://www.thr.mlit.go.jp/akita/etc/masumi/index2.html</p>	

